



西日本区中部ホームページ・http://www.ys-chubu.jp/

## 2010年9月号

### 「主題」

- 国際会長 : 「心新たに立ち上がろう」  
 アジア地域会長 : 「心新たに立ち上がろう」  
 西日本区理事 : 「飛翔たとう ワイズスピリットを胸に」  
 中部部長 : 「ワイズはフェイス to フェイス！」(コミュニケーションは顔を見て声をかけて)  
 プラザクラブ会長 : 「とにかく楽しくやってみよう」  
 【Menette=メネットが主導して楽しい例会を企画しましょう。日ごろ出席の少ないメネットにも呼び掛け参加してもらい親睦を深めましょう。】

### 9月例会および今後の予定案内

#### 【9月第1例会】

日時：9月2日(木)・18:45-  
 場所：ケンポー・東区東桜町2-15-27 TEL. 931-0271  
 内容：反省会  
 会費：ゲスト 5,000円

#### 【9月第2例会】

日時：9月16日(木)・18:45-  
 場所：名古屋YMCA会議室  
 内容：10月例会打合わせ  
 出席：役員(島崎・櫛田・後藤)  
 (義務者)10月担当者(高田・松永)  
 11月担当者(後藤・櫛田)

#### 【今後の予定】

- 中部部会・日時：10月2日(土)評議会 11:00  
場所：金沢ニューグランドホテル
- 10月第1例会・日時：10月7日(木)
- 四日市クラブ釣り大会・月日：10月16日(土)  
集合：8:00  
場所：桑名精海丸前
- 10月第2例会・日時：10月21日(木)
- 11月第1例会・日時：11月4日(木)
- チャリティーラン・日時：11月6日(土)  
場所：名城公園
- pdd児と釣り会・日時：予定・11月13日(土)  
場所：稲永公園
- 11月第2例会・日時：11月18日(木)
- 12月第1例会・日時：12月2日(木)
- 12月第2例会・日時：12月16日(木)
- クリスマスキャロル・日時：12月23日(木・祝)  
場所：JRタワーズ

### 8月例会およびその他活動報告 (敬称略)

役員	会員氏名	出席者			
		1	2	①	②
	大島 孝三郎		○		○
	小澤 幸男	○	○		
書記	櫛田 守隆	○	○	○	
会計	後藤 猛	○	○	○	
会長	島崎 正剛	○	○	○	
直前会長	鈴木 誉三	○	○		
	高田 廣		○		
	松永 裕子				
連絡主事	万福寺 昭美	○	○		
ゲスト	大平 純市	○			
課外活動		① 横浜国際大会・8/5-8/8 ② pdd児とマス釣り会・8/12			
出席率・%					88.9
1. ニコボックス					
2. オークション					
ファンド・当月合計/累計					
10月号ブリテンの寄稿者は高田さんです。 400字詰原稿用紙4-5枚を目安にお願いします。 Eメール <a href="mailto:moritaka_kushida@ybb.ne.jp">moritaka_kushida@ybb.ne.jp</a>					
11月号・大島/12月号・後藤/1月号・万福寺 2月号・松永/3月号・小澤/4月号・鈴木					

## 8月第1例会報告

日時：8月5日（木）・18:45-20:30

場所：名古屋YMCA会議室

卓話：会社経営の落とし穴

講師・大平 純市氏

クラブ入会予定の太平さんの卓話を拝聴する。

平成2年5月マンション建設会社を設立、7年6月店頭登録（現ジャスダック）、8年5月米国ナスダックへ上場、12年3月購買部次長の資金不正経理発覚・刑事告訴、同年5月上場廃止、同年8月民事再生法の申請、同年10月負債を残し顧客、取引先、社員を守る為ソフトバンク・インベストメント株の子会社SBIに営業譲渡、14年1月SBIからの譲渡代金を債権者に負債額の20%を返済、17年12月債権者に債権額全額を返済、21年7月大平氏持分は全額放棄し株主約3,000人に分与財産を配当する。

『不動産を一つの金融商品と捉え、土地オーナーに対してフィナンシャル・プランニングの観点からアプローチする営業手法や建物や製品の規格化により、資材の一括仕入れ、建設工程の管理による後期の短縮を実現し、低価格で良質なマンションを供給』する、というビジネスモデルが受け入れられ売上高の急激な伸びは、社員、取引先の増加をもたらした。このことは社員教育が疎かになり職務を遂行する責任範囲と限界が甘く、互いのチェック機能が生かされなかった。また、借金で苦勞した前建設会社の経験を反面教師に、投資会社・証券会社の支援や株式上場など潤沢な資金での運営を理想に新会社を設立したが、かえって金銭的な緊張感が薄れ、社員の不祥事から会社の信用が失墜、民事再生法を申請する結果になったのは、慙愧(ザン)に耐えない思いである。

現在は苦い経験を活かして一級建築士・ファイナンシャルプランナーなどのコンサルタントを生業にしております。

## 8月第2例会報告

日時：8月19日（木）・18:45-19:45

場所：名古屋YMCA会議室

1.9月第1例会について・島崎

(1)会費 ゲスト5,000円

(2)ジャガイモ(男爵) 1,500円/箱

カボチャ 2,300円/箱

当日注文を受けつけます。

(3)森宗さんの送別会を兼ねますので、万福寺さんは彼女の意向を確認してください。

(4)中部部会参加者現在5人、1泊2日、車2台分乗、9月第1例会にて最終人員を確認する。

2.大平氏入会式は10月第1例会に行く。



(プラザは小屋の中の清掃、東海は外の塗装を担当する)



(横浜国際大会・平野交流主任立会いの下にIBC締結式を行う)



(釣れないなあ、みんな釣れているのに、どうして)

## 日和田キャンプ場開設作業

今年で3年目になる。当初はパレットキッズのキャンププログラムに「釣りを組み込みたい」と森宗

さんからの要請に、適当な場所を探すため近くの川を見がてら1泊してキャンプ場開設の準備作業を手伝うことにした。

最初の動機は高邁？だったが、目的を果たせば翌年から1日目は溪流釣り、2日目は半日作業と普通のジジィに戻ってしまった。今年は7月24日の朝、パレットキッズの最終日プログラム「マス釣り」を開催する「みやま苑」を訪れ、予約の確認をする。残りの時間は釣り三昧、終わって日和田に4時到着、ワイズからは東海クラブ2人、グランパス4人にプラザは後藤さんと2人が参加する。夕食は野外で盛り沢山のバーベキュー、鱈腹食べて飲んで寝る。

25日、日が昇り明るくなったころ、早起きのグランパスがこれから作業をするらしい。昨日は長年放置されていた丸太小屋の整備に、キャンプ広場の草刈りにと大活躍である。若いクラブは良い。奈良で開かれた西日本区大会に「会員にお誘いする人は、30歳以下です」とのたまうた不愉快なクラブがあったが、今は「あり」では、と思う。奉仕活動は頭を使うのではなく身体を使うこと、要は理念より「まず実行」、と考えながら7時までぐっすり寝る。

プラザの2人に任された仕事は、遊び道具小屋の整理と清掃、ロッジ玄関の清掃である。道具を外に出して、中の雑巾掛け、道具を戻す、至って地味な作業で草刈りより楽ではあるが、それなりに達成感が希薄で少し物足りない。小屋のペンキ塗りを黙々とこなす東海の八木さんも作業を終えたようだ。

昼食後、ロッジ横にポール3本を立ち上げ、ワイズの8人は解散、帰途に就く。

## 横浜国際大会に参加して

8月5日から8日までの4日間、第69回国際大会に参加してきました。国内で国際大会が開かれるのは22年振りとのことでした。

会場は横浜みなとみらいの「パシフィコ横浜」で、大変素晴らしいところでした。会場は海の真近にあり、周りのインターコンチネンタルホテルや、ランドマークタワー、巨大風車、ベイブリッジなどの建造物と見事に調和した景観を醸し出し、みなとみらい駅からの200mほどのペDESTリアンデッキでの歩みを進める内に、この大会の素晴らしさを予感させるに十分な舞台でした。

参加人数は総計1,416名。(当日配布された参加者名簿を集計) エリア別ではアフリカ29名、アジア(東西日本区を除いて)174名、カナダ/カリビアン5名、ヨーロッパ86名、インド59名、ラテンアメリカ3名、サウスパシフィック10名、USA19名、

西日本区369名、東日本区522名、他にIYC参加者140名の合計で1,416名。国別で大人数のところでは台湾83名、インド57名、韓国43名、ロシア29名、ノルウエイ24名、デンマーク23名で、台湾は来年のアジア地域大会、ノルウエイは再来年の国際大会の開催地です。一方、大国の割に少なかったのがUSAの19名、UK2名、ドイツ1名、フランス、イタリアとも0名でした。YMCA発生のUK、ワイズメンズクラブ発生のUSは一体どうしたのでしょうか。

次に、大会プログラム抜粋です。

1日目。

・開会式(開会宣言、歓迎挨拶、祝辞、国際会長交代式)・基調講演・直前国際会長スピーチ、・バランタイン賞・エルマークロウ賞・BF デリゲートの紹介・食事・盆おどり・琉球国祭り太鼓。

2日目。

・国際書記長報告・全体会議(国連関連プロジェクトの報告)・HIV/AIDS、ロールバックマラリヤ・平和の時間(折鶴神輿の入場、I PrayのDVD上映・秋葉広島市長のDVD上映)・エキスカッション・晩餐会(IPナイト)・次期国際会長スピーチ・エンターテインメント(エリア別の出し物)

3日目。

・全体フォーラム「持続可能な社会に向けて」・IBC締結式・分科会(前半)・分科会(後半)・各地域会議・晩餐会(プレジデントボール)・国際会長スピーチ・キャビネットの紹介・元国際会長の紹介・エンターテインメント(ジャズ)・ダンスタイム

4日目。

・ユースコンボケーション報告・次期国際大会(ノルウエイ スタバンガー)のアピール・新旧国際書記長の挨拶・環境宣言・閉会式・解散

結びとして、今回の国際大会に参加してみて、多くの国の人たちと笑顔と片言でもことばを交わすことができ、親しみを感じ、たがいに仲良く暮らせ、国際平和や地球環境保全の問題でも世界中で協力して前進することが出来るに違いないと思いました。

追加。プラザクラブのIBC O-Ro-RaクラブのKim Moon Shikメン(韓国東部地区のRD)と会いました。現在休眠中の関係をE-mailで連絡を取り合って復活させたいと話しました。

(大島 孝三郎)

## パレットキッズとマス釣り会

晴れの週間天気予報が、2,3日前から台風4号の影響で怪しくなってきた。前日、日和田の森宗さん

に連絡すると「今日は川遊びを中止しました。子供たちは明日の釣りを楽しみにしているので、大降りだったらどうしよう」の返事に「では、取り敢えず現地に行きます」。同行の島崎さん、後藤さんに「行っても中止かもしれない、無駄足覚悟」を電話で伝える。

12日高速の中津川を降りると土砂降りの雨が、開催場所の「みやま苑」に近づくにつれ小降りになる。10時半ごろ子どもを乗せたバスが到着した。小雨が時々ぱらつき、池の水嵩も少々高いが、やれないことはない。後藤さんが釣り方を説明して子供たちひとりに竿を渡す。後藤師匠の「今日はよく釣れる」のご宣託通りよく釣れる。去年は釣れないと泣いていた子も、獲れた魚をぶら下げて「釣った、釣った」喜んでいる。われわれ3人は、餌付けや魚外しやと結構忙しい。釣った魚を自慢しながら炊事場のリーダーに持って行く男の子の後姿は、嬉しさにあふれている。

リーダーたちは魚の腹を裂き、竹串に刺し、塩をまぶして炉で焼いている。子どもたちが釣りに飽きてほっとしたころ、リーダーの女の子が「釣りをしたことはありません、今日初めてです。やっていいですか。」と言いながら竿を出すとすぐ釣れた。一言「楽しいですね」。釣りに興じる子どもの世話をしたり、黙々と魚を焼いたりしながら「私も」と思ったかもしれない。裏方さんたちに感謝する。

「入る」とズボンを脱ぎかけた子がいる。毎年釣りの後、池の水を抜いてマスのつかみ取りをする。「さて、今度はつかみ取り」と張り切ったのであろう。今年は気温が低く、水を完全に空にすることが出来そうもないため、中止にしたのが不満だったらしく数人の子が抗議に来た。「寒いから風邪引くよ」と説得する。自分たちが獲ったマスの塩焼きとおにぎりの食事を済ませると12時半、「ありがとうございました」の感謝の言葉を全員から貰い、「また来年もここで遊ぼうね」と挨拶する。天気心配だった今年の子どもの「釣り会」も無事終了した。

## 聖書の言葉

【貧しい人々は、幸いである】

【イエスは目を上げて弟子たちを見つめながら、話された。「貧しいものは幸いです。神の国はあなたがたのものでありますから。いま飢えている者は幸いです。あなたがたは、やがて飽くことができますから。いま泣いている者は幸いです。あなたがたは、いまに笑うようになりますから。人の子のために、人々はあなたがたを憎むとき、また、あなたがたを除名

し、はずかしめ、あなたがたの名をあしざまにけなすとき、あなたがたは幸いです。その日には、喜びなさい。おどり上って喜びなさい。天ではあなたがたの報いは大きいからです。彼らの先祖も、預言者たちをそのように扱ったのです。(ルカの福音書 6:20-23)】

【マタイの福音書5章3節の「心の貧しい者は幸いです」に対して、単に「貧しい者」とは、文字通り経済的に困窮した者を指しているのだろうか。イエスが“八つの幸い”を弟子たちに語った山を下りてから、“四つの幸いと四つの不幸”を話されたのがこの章節だと言われている。日を置かずに語られた同じような文言の意味は同じ、と通常は考えるが、あるいはルカの記述ミスか。このマタイとルカの章節をネットで調べると心の貧しい者の「心」に比重を置きながら、双方同じ意味で解説している。日本聖書協会の資料では、『ギリシャ語で「心の貧しい人」を直訳すれば「霊において貧しい人」となりますが、「霊において」という表現は日本人には理解できないから、「心の貧しい人」と訳された経緯があります。しかし、日本語で「心が貧しい」と言えば、「品性の卑しい」という意味になり、始めて聖書に接する人々に分かり易くしようと「ただ神により頼む人」と翻訳したのです』と1978年に出版された「共同訳新約聖書」の翻訳理念を書いている。ところがこの共同訳は評判が悪く1987年出版の「新共同訳」は「心の貧しい人」と元に戻している。異なる言葉(言語)をお互いに理解するのは容易ではない。今さらバベルの塔・・・のことは言うまい。

## Zoom・子どもの使い

新聞が『「111歳」男性、実は30年前死亡?』と報じてから今日で1週間になる。各自治体が慌てて高齢者の所在を確認した結果、テレビは「確認できない人52人(8月5日現在)」と伝えている。インタビューに役人は「お祝い品を持って訪問しても、家族に断られて本人に会えないことがある。やむを得ず家族に渡して帰ってきます」と答えている。かみさんが、「レイみたい」という。レイとは市内に住む二女夫婦の3歳の娘で、小学校3年の姉ちゃんと月1回遊びに来る。土曜日に来て日曜日の夕食を食べての帰り支度どきにいつも一騒動ある。クルマに乗る前の用を足す段になると、「したくない」と駄々をこねる。ある時、かみさんの「トイレに行ってらっしゃい」の命令口調に「はい」と返事をして、トイレの前まで行ってすぐ戻ってきた。「行った?」「うん、トイレに行った」、「・・・」。